



●この説明書は、必ず取付け・建付け調整される方にお渡しください。

■取付け・調整上のお願

●防犯性を維持するために、戸先錠・合掌錠の作動確認、錠の掛かり調整は必ず行ってください。

■部品・ねじ一覧表

※下表の記号は本文図中の記号を使用します。間違いのないよう使用してください。

■2枚建て

㉞ 錠本体 (1個)		㉟ 錠台座 (1個)		㊱ 錠取付けねじ (2本)	㊲ 戸先錠カバー (1個)		㊳ 錠受けカバー (1個)
L (内観左側用)	R (内観右側用)	デュオ用	シンフォニー用		L (内観左側用)	R (内観右側用)	

■4枚建て

㊴ 錠受けスペーサー (1個)

■戸先錠の取付けと掛かり調整 (2枚建て)

1 事前準備

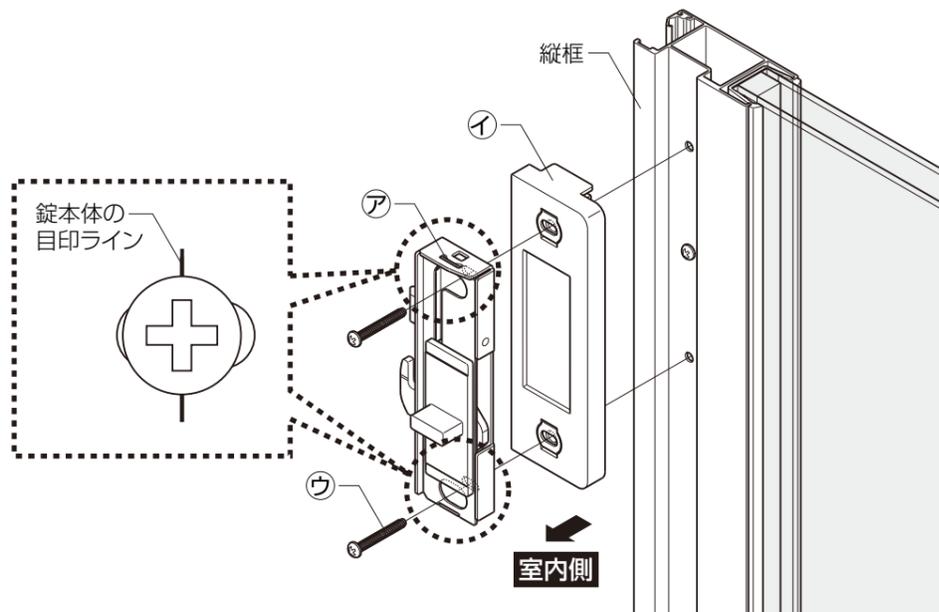
●障子の建付け戸車調整を事前に行ってください。戸車調整方法は「枠 取付け説明書」を参照してください。

※後で戸車調整を行う場合は、再度戸先錠の掛かり調整も行ってください。

2 戸先錠の取付け

●錠台座、錠本体、取付けねじを合わせ、ねじ止めしてください。

※錠本体のねじ止め位置は、ねじの中心が錠本体の目印ラインの位置にくるように取付けてください。

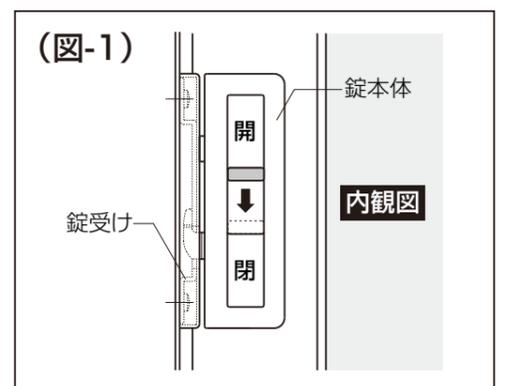


3 戸先錠の作動確認

●まず、障子を開けた状態で鎌を出して、鎌と受けの位置が「A部詳細図」の通り正しい状態になっていることを確認してください。(障子を開けた状態で鎌を出す場合は、トリガーを押してください。)

※正しい状態になっていない場合は、下記の手順で錠の掛かり調整をしてください。

●次に、操作ツマミがしっかり下まで降りた状態になることを必ず確認してください。(図-1)



4 戸先錠の掛かり調整

※戸車による縦枠とのチリ合せ、建付け調整をした後に、障子を閉めた状態で、錠が掛からない場合は、次の手順で調整を行ってください。

①錠受けによる上下方向の調整

受けの切欠き上部の位置が、鎌の2本の目印ラインの間にくるよう受けを調整してください。(「A部詳細図」参照)

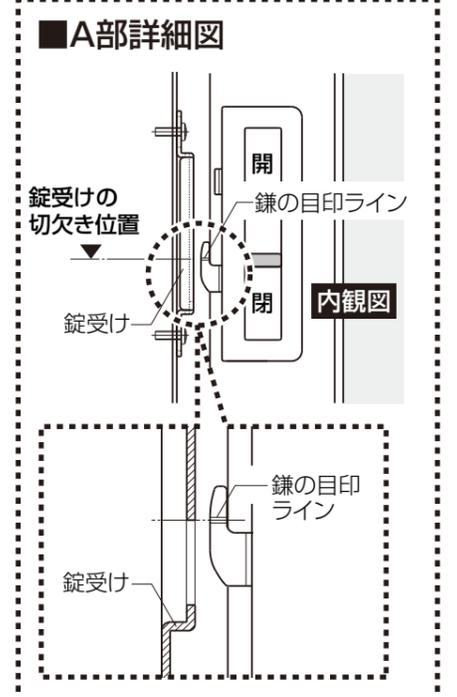
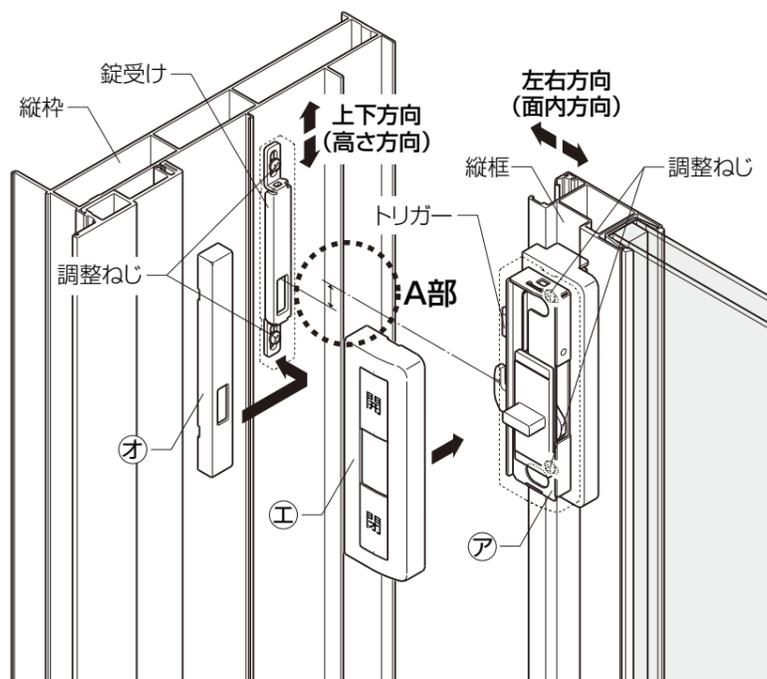
②錠本体による左右方向の調整

錠本体を左右方向(受けに近づく方向)にずらして調整してください。

③最後に錠本体カバー、錠受けカバーをはめ込んでください。

5 外障子 (戸先錠) のガタツキ調整

●外障子の開ける方向のガタツキをおさえる場合は、錠本体を左右方向(受けから遠のく方向)にずらして調整してください。



■合掌錠の掛かり調整（4枚建て）

1 事前準備と合掌錠の作動確認

●合掌錠はあらかじめ取付けされていますので、事前準備（戸車調整）と、錠の作動確認を戸先錠（前記）と同様に行ってください。（「B部詳細図」、「図-2」参照）

2 合掌錠の掛かり調整

※戸車による合掌框のチリ合せ、建付け調整をした後に、障子を閉めた状態で、錠が掛からない場合は、次の手順で調整を行ってください。

①錠受けによる上下方向の調整

受けの切欠き上部の位置が、鎌の2本の目印ラインの間にくるよう受けを調整してください。

②錠受けによる出方向の調整

※合掌錠は本体を左右方向に調整できませんので、受けを出すことで調整を行います。

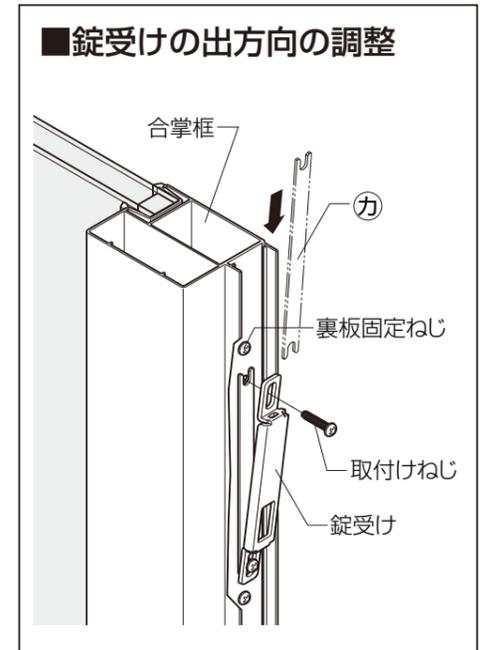
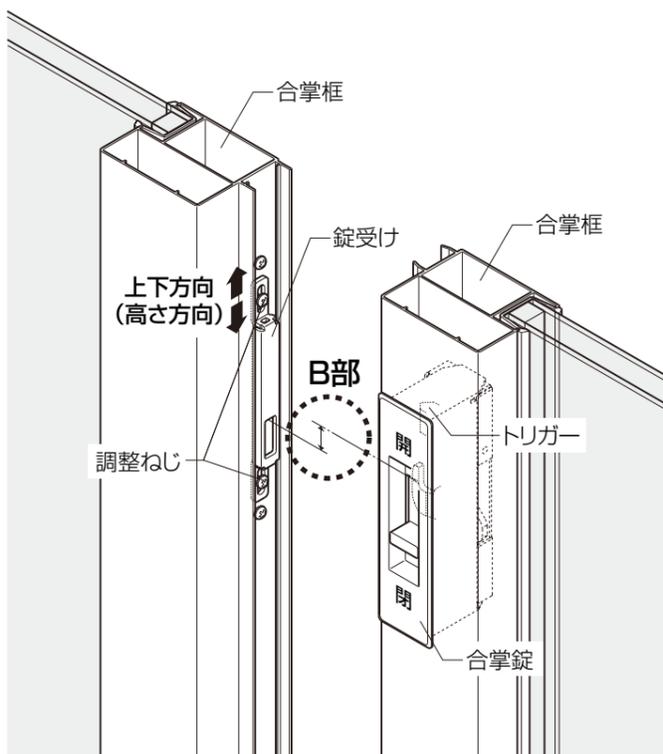
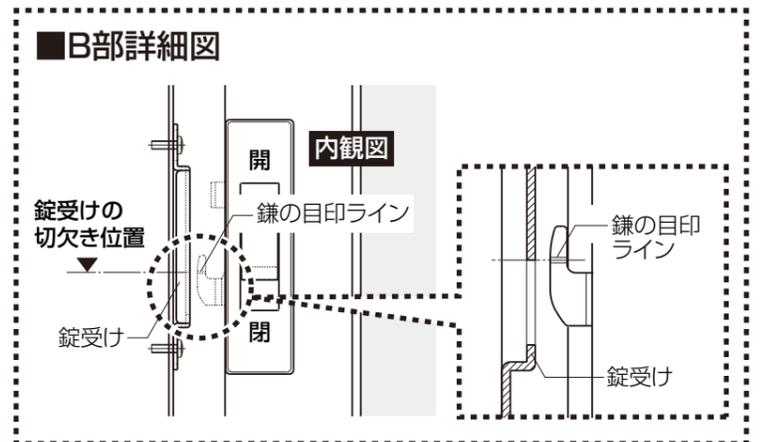
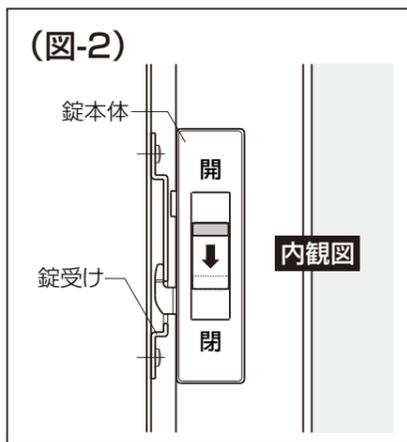
●上側の受け取付けねじを外し、次に下側の受け取付けねじをゆるめます。

●錠受けスペーサーを下側の錠受け取付けねじにあててはめ込み、ねじを締めなおしてください。

※スペーサーはプラスで1枚（厚さ1.2mm）までしか使えません。それでも錠が掛からない場合は合掌框のつづみの状態が原因と考えられますので、つづみの状態をなおしてください。

3 外障子（合掌框）のガタツキ調整

●合掌錠本体は、左右方向の調整はできません。外障子を開ける方向のガタツキをおさえない場合は、合掌框（障子）のたいこ状態が原因と考えられますので、たいこ状態をなおしてください。



■内障子の左右方向のガタツキ調整

※内障子の左右方向のガタツキをおさえる場合は、戸先錠、合掌錠を調整した後に、以下の方法で調整を行ってください。

①錠を施錠した状態で、外障子を開ける方向に動かします。

②次に、内障子を開ける方向に内障子をpushした状態で、上枠（室内側）召合せ部についている調整部品のねじをいったんゆるめ、収納方向に部品を動かし、召内框に押し当てた位置でねじを締めてください。

※4枚建てについては、左右どちらかの調整部品を動かして、調整してください。

